

題名：横浜労災病院で胸部不快感、胸痛を主訴にご来院されました方へ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	<u>胸痛患者診療における高感度トロポニン T を用いた 0-1hr アルゴリズムの導入</u> <u>—前向き段階式病院間ランダム化比較国際共同試験</u> (2-53)
当院の研究責任者 (所属)	循環器内科 柚本 和彦
他の研究機関および 各施設の研究責任者	順天堂大学医学部附属練馬病院 循環器内科 准教授 井上 健司
本研究の目的	高感度トロポニン測定系を用いた 0-1hr アルゴリズムをアジア諸国に全般的な実装を図ることを目的として、同アルゴリズム導入による有用性を示し、診療時間と医療費の削減を実際の診療情報の解析により明らかにすることです。非 ST 上昇型心筋梗塞 (NSTEMI) 診断の有用性並びに救急での時間と費用の削減効果が明示できれば、日本だけではなくアジア諸国における救急室混雑の緩和と医療費削減に寄与することが期待されます。
研究の方法 (利用する試料・情報)	(1) 対象となる方 横浜労災病院の救急外来に胸痛を主訴で来院し、来院時検査で非 ST 上昇型心筋梗塞 (NSTEMI) を疑われる方を対象とします。対象年齢は 18 歳から 89 歳までです。 (2) この研究で行う診断、治療方法 ある一定の時期を境に施設ごとに 0-3hr アルゴリズムから 0-1hr アルゴリズムを用いた診療に順次移り変わっていく手法を用いることによって、通常診療と遜色ないことを示す研究方法を採用しています。よって治療に直接影響することはありません。 (3) 検査および観察項目；救急外来受診時 ① 背景情報 (年齢、性別、病歴、診断名、治療歴) ② 血液学的検査 (ヘモグロビン、ヘマトクリット値、白血球数、血小板数) ③ 血液生化学的検査 (総蛋白、AST、ALT、LDH、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、高感度トロポニン T 値) ④ 心電図、心臓超音波検査、胸部レントゲン ⑤ 医療費、救急室滞在時間 ⑥ 予約した次回外来受診後に次回外来を予定しておりますが、来院されなかった場合、健康状態の確認のご連絡を病院スタッフよりお電話をさしあげること

	がごぞいます 研究実施期間：2021年4月～2023年9月
利用する試料・情報の 該当期間	2021年7月～2023年9月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	研究機関への提供先： 順天堂大学医学部附属練馬病院 循環器内科 准教授 井上 健司 提供方法：症例報告書を郵送する。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：柚本 和彦 (所属：循環器内科)
備考	